

## ■ 「まちなかの魅力創造」 マチノガッコウの取組み (文責) 熊本大学 田中尚人

### 1 はじめに

2016年4月に起きた熊本地震、2020年4月から本格化した新型コロナウイルス感染症蔓延による社会不安、日本全国で頻発する激甚災害など環境の変化も大きいですが、人口減少社会を迎え ICT 技術の進展などにより、私たちのライフスタイルも変化し、都心、まちなかに期待される役割も変化している。2022年6月に熊本において、熊本市やすきたい熊本と協働し熊本大学まちなか工房が主催した「三都市シンポジウム」では、まちなかにおける居場所をテーマに、金沢市、岡山市の行政・商店街・大学の皆さんと「まちなかの魅力」について話し合った。

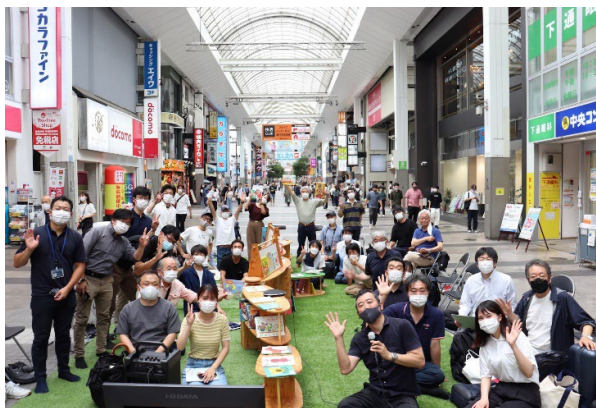


図1 三都市シンポジウム二日目の車座会議

この場集った、まちなかの商店街の後継者たちでつくる(一社)マチノミライ、(株)地域創生 Co デザイン研究所、熊本市役所、熊本市教育委員会の人々が集まり、熊本のまちなかの魅力を子どもたちに伝える「マチノガッコウ」プロジェクトがスタートした。本稿ではこの取組みについて紹介する。

### 2 マチノガッコウとは

未来の熊本を創る小学校高学年をターゲットに、高校生たちと一緒に商店街、熊本にある大学、熊本市役所、民間企業が協働し、熊本市中心部「まちなか」の歴史、観光、食(文化)、職(働き方)を学ぶ場として「マチノガッコウ」をつくるプロジェクトを2022年7月にスタートさせた。

本事業は、持続可能な中心市街地の魅力づくりに資するとともに、その魅力創造の担い手となり、発信者ともなる若者を育成する人材育成プログラムでもある。この取組みについては、翌年1月から世界に向けて熊本の教育を発信する「Kumamoto Education Week」にも取り上げられた。

### 3 第1回WS「マチノガッコウでやってみたいこと」

日時: 9月17日(土) 10-12時

場所: 下通繁栄会

熊本市内の高校生15名(5校×3名)が集まり、4名の大学生のTAとともに、ワールドカフェ形式のワークショップを行い、グループを組み替えながら「まちなか」のいいところ、わるいところ、を共有した。



図2 第1回WSの風景

WS冒頭の挨拶で、校長先生を務める松永哲典さん（マチノミライ代表）は、「商店街にできないことはない！」と宣言したものの、高校生たちは、この2年間ほぼまちなかで過ごす時間もなく、買い物もオンラインショッピングが主流になり、居場所に関する議論は難しかったが、後半は、お互いに考えを知ることができ、まちなかの魅力を小学生たちに伝えるための素材を集めることができた。

#### 4 第2回WS「マチノガッコウをつくる」

日時：10月22日（土）10-12時

場所：NTT西日本九品寺ビル

2回目のWSでは、最初に九学、熊商、尚綱、中央の四校の高校生達が、熊本の小学生達にまちなかの魅力を伝えるプログラムをプレゼンしてくれました。どのプレゼンテーションも、高校生たちが考える熊本のまちなかの魅力を、小学生たちと一緒にまち歩きをしたり、動物と触れ合ったりすることで学ぶことができる提案となっていた。

次に、特別講師として招聘した東京国際工科専門職大学の小野憲史先生が「ゲーミフィケーション」のエッセンスを講演して下さり、高校生たちは小学生たちがまちなかの魅力を知る「きっかけ」について学びました。商店街の若者たちも参加して、プログラムのブラッシュアップを行った。

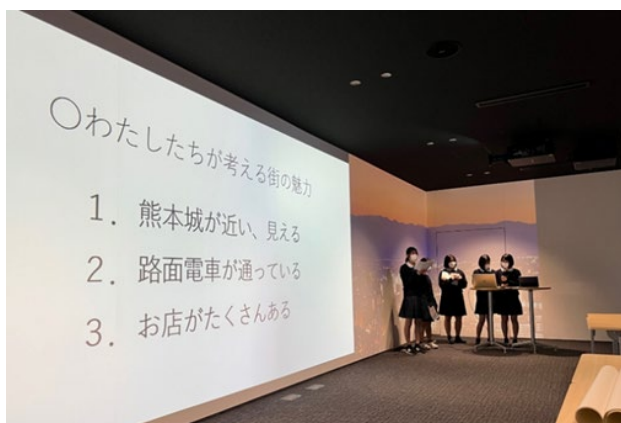


図3 第2回WSにおける高校生の発表風景

#### 5 第3回WS「マチノガッコウをPRする」

日時：11月20日（日）10-12時

場所：下通繁栄会

3回目のWSは舞台をまちなかに戻し、各校のプログラム決定の後、現場でどのように小学生たちを誘導し、まちの魅力を発見してもらうのか、ロケハンを行った。



図4 尚綱高校の生徒によるロケハンの風景

#### 6 マチノガッコウ2022プログラム

(1) 実施内容：

熊本市内の高校生たちが、自分たちが考えるまちなかの魅力を基に、まち歩きプログラムをつかった。市内の小学校6年生が6人一組で高校生たちとまちを巡り、様々な体験をしながら、まちなかの魅力とともに学ぶことを期待している。

(2) 各プログラム：

①上通：熊本商業高校「新しい発見がたくさん！！上通を知り尽くせ！ー君たちはワードハンター」

上通は熊本の中心にあるアーケード商店街で、熊本城の城下町として昔の雰囲気を感じながら現代の流行も兼ね備えたとても楽しくて明るい街だよ！ワードハンターになって上通を探検しよう。与えられたヒントをもとに上通に隠された6つの文字を見つけ出し一つの言葉を完成させよう。

②下通北（新天街、二番街）：熊本中央高校「熊本妖怪大集合！！発見がとまらない！！熊本の街！」

ヒントを頼りに街中にある妖怪を探していく。妖怪にまつわる怪談話から、熊本で暮らしていく中でやってはいけないこと、守って欲しいことを学ぶ。またその場所や店に携わる妖怪を出現させることで、昔の街並みを知る。



③下通南（三番街、四番街）：尚絅高校「NEW WORLD  
—お宝と思い出を作ろう！—」

マチナカ最大の魅力は「たくさんのお宝・モノ・店」が集まる出会いに溢れるところです。NEW WORLDはそんなマチナカの魅力を発見してもらうために、小学生がクイズに答えながら「宝探し」をしてマチナカを探検するプログラムです。もちろん最後には「お宝」が待ってます！！プログラムが終わる時には、新しい世界があなたを待ってるかも！？

④新市街：九州学院高校「生まれ!動物のマチ！～マチナカの小さな命～」

動物（保護ネコ、犬、亀、うずらなど）をマチに呼び、動物を通して命の大切さを一緒に考えます。その後、マチに住んでいる動物達と一緒に探しましょう！意外なところに意外な動物達が暮らしているかも？！たくさん見つけた人には商店街のお店からプレゼントがあります！

## 7 マチノガッコウ2022 開校

日時：2022年12月18日（日）

開校当日は、新型コロナウイルス感染症に注意しながら、28名の小学生たちの参加を得て、マチノガッコウ2022 午前、午後のプログラムを無事に実施することができた。

熊本のまちながで、熊本の宝物を知って、遊んで、みんなで作る、まちなかの遊園地のような居場所を「マチノガッコウ」と名付けた。マチノガッコウでは、高校生が小学生たちと一緒に、「熊本のまちなかの魅力」を教えるのではなく、ともに学ぶ。

高齢社会を迎え、新型コロナウイルス感染症による社会変革「ウィズコロナ」の実践を余儀なくされることになっても、DXなどの力を借りながら、地域の歴史や文化に根差した、まちなかの魅力を多様な主体とともに創出するマチノガッコウの取組みは、新しい熊本の魅力を共創する場となりえるのではないか、と考える。



図5 高校生たちの集合写真



図6 小学生の写真を撮る高校生たち